

# みき通信



日本共産党 町議会議員  
くぼたみき 活動報告

第75号 2017年10月30日

発行 がんばれ くぼたみきの会

連絡先 875-7126 (阿部)

## どう見る総選挙 - -

### ぶれず、揺るがず、たじろがず

森友、加計問題をうやむやにして突然行われた総選挙は、自民公明与党が、衆院定数(465)の2/3を占め、日本共産党は21議席から12議席にと残念な結果となりました。

「安倍政権が信任された」という声もありますが、選挙中の世論調査などを見ても内閣支持率は低下し続けており、世論が反映されたいるかどうか。小選挙区自民党得票率は約47% (全有権者の中では約25%) ですが、議席占有率は約74%と全有権者の4分の1の票で、4分の3の議席を占めているのです。

自民党の得た議席は、改憲や消費税増税、原発推進を語らず、小選挙区制のもとで得た「虚構の多数」です。森友、加計疑惑を説明せず、民意に背いた更なる安倍政権の暴走を許すわけにはいきません。

希望の党の出現と民進党の混乱は、政治不信を拡げましたが、共産党、立憲民主党、社民党の3党と市民連合の共闘が力を発揮し、北海道では全12小選挙区中5区で、新潟では全6選挙区中3区で議席を得ました。地元神奈川4区では、7項目の政策合意に基づく「市民と谷戸の共闘」のもとで、共産党候補を下ろして、統一した早稲田夕季さんが当選しました。全国各地で市民と野党の本気の共闘が政治を動かす力になることを示しています。

今後予想される戦争につながる改憲や、消費増税、原発推進など、暮らしと平和を脅かす政治が続くという困難に立ち向かうには、「共闘の絆」を拡げ、共産党の力を大きくしなければなりません。

あきらめず、ぶれず、ゆるがず、たじろがずに進む共産党の姿を、どうぞしっかりとみて、知ってください。そして力を合わせていきましょう。

## 一般質問で取り上げました

町議会議員 くぼた みき

いじめ問題の現状と対策、把握後の対応では「本人がいじめと感じた場合全てカウントし、小学校76件、中学校9件だ。重篤な事案は発生していないと報告をうけているが、絶対に許されない行為であり、どの子にも起こりうるという認識に立つことが重要で早期に対応していく」ということでした。いじめの問題は深く、なくしたくてもなくなるものではありません。

先進国では子どもの貧困とは食べる事に困るというものだけでなく、相対的貧困や孤食など、現状が見えづらいものもあり、葉山で民間の「こども食堂」が2カ所で始まり、ボランティアや食材募集もしています。町の対策は「総合的な面から、何ができるか考えている」というものでした。民間や社協任せではなく、現状把握のためのアンケート調査など積極的に関わっていく必要があります。

婚姻歴の有無で、ひとり親家庭への福祉的補助が対象外となっている現状。負担額の差を解消するためにもみなし寡婦控除への対応を求めています。「経済的支援の差が起きないように対応していきたい」というものの、保育料では6万円もの差が出る事例も見られます。早急な対応を求めています。

学用品費のほか入学準備金も支給される就学援助制度。入学した年の10月に支給され、入学準備には生かせません。入学準備時期に合わせた就学援助制度を求めています。答弁は「31年度の入学対象を目指す」と、周知漏れなどないように求めました。

小児医療費補助事業は県内自治体の半数以上が中学3年までを対象としています。町長は「中3まで所得制限なし拡充は30年度予算策定にあたり、全体的予算を確認し、可否を決めたい」とこれまででない前向きな町長答弁でした。

県の高齢者外出支援サポートサイトに各自治体の対応状況が掲載されています。葉山は社協やNPO法人等検討中だけ。残念ながら高齢者外出支援策が遅れていることがわかります。他自治体を参考にし、バス代、タクシー代補助等の外出支援策を求めました。「社協やNPO法人等で検討しており、近隣状況も調査し検討する」というもの。スピード感のある対応を求めました。

声を上げ続けることが大切と考えています。皆さんの声もお聞かせください。